

《目 次》

提言の要約	1
はじめに	2
第1章 豊岡市の現状分析	
1 概況	2
2 人口と年齢構成の推移	2
3 路線バスの利用状況の推移	3
第2章 豊岡市のバス路線休止問題	
1 バス路線の休止とその基本的対応方針	3
2 豊岡市のバス交通の現状	
(1) 概要	4
(2) イナカー	4
(3) チクタク	5
第3章 イナカーとチクタクの抱える課題	
1 イナカー、チクタクの利用率の伸び悩み	6
2 イナカー、チクタクの運行にかかる市の負担額	8
3 地域の高齢化によるチクタクの地元運営組織の弱体化	9
第4章 政策提言	
1 持続可能性を高めるための利便性向上策と効率化について	
(1) 豊岡市におけるフリー乗降制の導入	9
(2) 豊岡市におけるデマンド制の導入	9
2 地域の高齢化への対応策	
(1) 豊岡市における過疎地有償運送の導入	10
(2) 豊岡市におけるタクシー運賃補助制度の導入	11
(3) 結論	11
おわりに	13

【 提 言 の 要 約 】

地域の交通網を守る ～公共交通は続くよどこまでも♪

現 状	<ul style="list-style-type: none">■ 豊岡市は、面積698km² 人口8万6千人弱の地方都市である。市域の8割を森林が占めており、山間部においては、高齢化の進む過疎地域が点在する。■ 路線バス等の地域公共交通は、利用者の減少等により衰退の一途をたどっている。■ 平成20年にバス会社の路線の大規模な休止が行われた。地域の交通網を守るため、市は種々の施策を実施したが、永続的に地域交通網を維持するには、課題も多い。
----------------	--

目 標	<ul style="list-style-type: none">■ 過疎地域における高齢者等の交通弱者の足を確保するため、廃止されたバス路線の代替交通（市営バスであるイナカー、地域主体交通であるチクタク）について、現状を改善し、持続可能なものとする。
----------------	---

課 題	<p>①イナカー、チクタクの利用率の伸び悩み</p> <p>「バス停が遠い」等の理由により、利用率が伸び悩んでおり、運行システム等の改善が必要。</p>	<p>②イナカー、チクタクの運行にかかる市の負担</p> <p>市の一般財源にかかる負担（特にイナカー）が大きく、運行の持続のためには負担の軽減が必要。</p>	<p>③チクタクの地元運営組織の弱体化</p> <p>地域の高齢化が進んでいくことによるチクタクの運営組織の弱体化への対応策が必要。</p>
----------------	--	--	--

施 策 提 言	<p>①フリー乗降制の導入</p> <p>「バス停が遠い」等の意見に対応し、路線上で自由に乗降できるフリー乗降制を導入する。</p>	<p>②デマンド制の導入</p> <p>市の負担額を減少させ持続性を高めるため、デマンド制の導入による効率化を図る。</p>	<p>③過疎地有償運送の導入</p> <p>NPO法人等を運営主体とした過疎地有償運送を導入する。運賃は高くなるが利便性は向上する。</p>	<p>④タクシー運賃補助制度の導入</p> <p>タクシー運賃について一定額の補助を行うとともに利用者の乗合調整による運賃負担軽減を図る。</p>
----------------------------	--	--	--	---